

「海と生きる」自然・歴史・産業・防災・ジオから「生きる力」を学ぶ



けせんぬまし
気仙沼市

(一社) 気仙沼市観光協会



宮城県北部の気仙沼市は、リアス海岸の海と豊かな山々に抱かれた美しい自然に支えられています。親潮と黒潮がぶつかる資源豊富な海とリアス海岸特有の地形により、海と山との両方から恵みを受け、独自の食文化や生活様式を大切に育んで魅力あるまちづくりを進めています。

Point!

一般社団法人 気仙沼市観光協会からのメッセージ

事務局次長 熊谷 俊輔さん

日本ジオパークに認定された三陸復興国立公園の南部、リアス海岸特有の美しい景観をもち、養殖・近海漁業の深い歴史がある「唐桑地区」。鉱山や林業で栄え伝承や民話、歴史や文化財など数多くの魅力があふれる里山地域「八瀬地区」。仙台湾御塩場としての歴史を持つとともに、先端の岩井崎にはペルム紀化石産地の標準地のひとつとして2億5千万年前のサンゴや有孔虫を含んだ石灰岩が見られる「階上地区」。魅力ある各地域とともに、国内有数の見学デッキを持つ魚市場や震災の教訓を伝える充実した各施設、語り部、体験プログラムをそろえています。それらのコンテンツをつなげるワンストップの受け入れ窓口を整備し、学習目的に合わせた受け入れを可能としていますのでぜひご活用ください!

学習のねらい・学習効果

Point! 1 東日本大震災を体験した語り部の生の声や、震災に係る各施設(気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館、リアスアーク美術館)での体験を通じて、「生きる力」「震災時の対応」「災害に対する日頃の備え」を学ぶことができます。

Point! 2 気仙沼の全地域をフィールドとして、美しく豊かな海の「めぐみ」を支える森と川、海のつながりを体感することで、「自然と生きることの大切さ」「自然の恩恵」「環境保全」などを考える場となります。また、三陸沿岸唯一の水産物の都市として、魚市場をはじめとした水産業に係る学習もできます。

Point! 3 東日本大震災により甚大な被害を受けた中、再び「海と生きる」ことを決意し、自然とのかかわり方を日々模索してきました。各体験にその思いが込められており、自然・歴史・産業・防災の多面的な角度から、総合的に「生きる力」を学習することができます。



け せんぬまし かんこうきょうかい (情報提供)
一般社団法人 気仙沼市観光協会
(一社) 気仙沼市観光協会 唐桑支部 TEL/0226-32-3029
(一社) 気仙沼市観光協会 階上支部 TEL/0226-27-5410
八瀬・森の学校 TEL/0226-55-2323
(一社) 気仙沼市観光協会 大島支部 TEL/0226-28-3000

TEL.0226-22-4560 FAX.0226-22-9280

住所 〒988-0037 気仙沼市魚市場前7-13 海の市2F

アクセス 仙台駅から150分(東北自動車道一関ICから70分)、平泉から車で80分、日本三景松島から車で120分

e-mail k-kanko@k-macs.ne.jp

ホームページ http://www.kesennuma-kanko.jp/

●まちむら交流きこうコーディネートシステム登録地域協議会(登録名:気仙沼市アグリマス・ツーリズム連絡協議会)
●子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域(登録名:気仙沼市アグリマス・ツーリズム連絡協議会)

宿泊/食事 大型観光ホテル、ビジネスホテル、旅館、民宿、農家民泊、キャンプ場など 約50軒 約3,000名/気仙沼で水揚げされた新鮮な魚介類や地元農産物

唐桑エリア

1 自然・アウトドア体験

唐桑半島トレッキングガイド 四低～高

唐桑町には、環境省「みちのく潮風トレイル」や「宮城オルレ」など、自然や文化を五感で感じながら歩くことのできるウォーキング、トレッキングコースがあります。所要時間やテーマなど、ご要望に応じたコースを設定し、地域ガイドがご案内します。浜清掃や草刈りなど、コースの維持管理に関するボランティア体験もできます。

【料金】ガイド1名につき1時間3,000円

【人数】1名～ 【期間】通年 【時間】1時間～



唐桑エリアの宿泊施設

施設名	電話番号	定員
民宿さかや	0226-34-3520	20名
民宿はまなす	0226-32-2814	15名
民宿なぎさ	0226-32-3198	20名
民宿砂子	0226-32-2613	40名
民宿船渡	0226-32-3148	20名
民宿堀新	0226-32-2373	20名
唐桑御殿つなかん	0226-32-2264	20名
リアス唐桑ユースホステル	0226-32-2490	28名

八瀬・森の学校エリア

1 農村体験・民泊

暮らし体験 四低～高

数名ごとに分かれて農家に宿泊して、田舎の暮らしを体験します。豊かな自然と農家の方々の素朴な人情にふれることで「心の交流」が育まれます。

【料金】6,500円 【人数】最大40名 【期間】通年 【時間】1泊2日～



2 食育体験

そば打ち体験 四高～高

旧月立小学校の木造校舎の教室で、地元産のそば粉を使ったそば打ち体験ができます。直径約3mの水車での製粉作業を見学した後、「練る」「伸ばす」「切る」の各工程を学びます。自分で打った「そば」の味は格別です。

【料金】1,500円 【人数】20名程度 【期間】通年 【時間】2時間



階上エリア

岩井崎塩づくり体験 四低～高

階上地区にある岩井崎周辺は、かつて、仙台湾御塩場として塩づくりが盛んに行われていたところです。昔の塩づくりの手法や歴史について学びながら、海水を使ったミネラル豊富なおいしい自然塩を作ります。

【料金】500円 【人数】1～20名 【期間】通年 【時間】30分～



大島エリア

1 感動体験(屋内)

①ゆず入りアイスづくり 四低～高

大島の温暖な気候を利用して栽培されたゆずを使い、アイスクリームを作ります。

【料金】1,000円 【人数】6名以上 【期間】通年 【時間】1時間30分

②漁師の瓶玉づくり 四低～高

昔は漁師の漁具として利用していた浮き玉。独特の縄の編み方を学習し、自分だけの瓶玉を作成します。

【料金】1,500円 【人数】6名以上 【期間】通年 【時間】1時間30分



2 震災・防災講話

大島防災教育・海から眺める内湾遊覧(大島汽船) 四低～高

船上から被災状況を見ながら地元ガイドによる説明を聞きます。

【人数】40名以上 【期間】通年 【時間】1時間30分
料金等詳細は「大島汽船:0226-23-3315」までお問合せください。

その他の周辺施設

海鮮市場「海の市」 <http://www.uminoichi.com/>

TEL.0226-24-5755 FAX.0226-22-9292

住所 〒988-0037 気仙沼市魚市場前7-13

休業日 不定休(お問い合わせください)

営業時間 9:00～17:00

e-mail info@uminoichi.com

道の駅「大谷海岸」 <https://www.michi-no-eki.jp/stations/view/176>

TEL.0226-44-3180 FAX.0226-44-3181

住所 〒988-0273 気仙沼市本吉町三島94-12

営業時間 8:30～18:00

リアスの海で海・山・里での暮らしを体験しよう



(一社)南三陸町観光協会



南三陸町は、三陸復興国立公園の中に位置し、入り組んだリアス式海岸の独特の景観が特徴的です。また、世界三大漁場といわれる三陸沖の恵みを受けています。海・山・里の体験を通して、都会とは違う独特の「南三陸時間旅行」を満喫できます。

Point!

一般社団法人 南三陸町観光協会からのメッセージ

事務局長 及川 和人さん

南三陸町は平成23年3月11日の「東日本大震災」により、甚大な被害を受けました。尊い人命が失われ、漁業施設や産業観光施設の多くが流失しましたが、町民は一步一步前に進んでいます。今ある限られた資源を活かし、学び旅を提供いたします。徐々に整備が整いつつある今だからこそ、震災後の海を知ることができる漁業体験や、人々の暮らしを身近に感じることができる民泊などで人間と自然との関係性について学ぶことができます。また、実際に震災現場の現状を伝えることや一次産業、商工業の「再生」「復興」に取り組む町の姿に触れることは、今しか体験することができません。私たちが震災から得た教訓は大変多く、それらを次の世代に伝えていくことは、われわれ大人に課せられた責任であると考えております。

学習のねらい・学習効果

- Point! 1** 養殖業の仕組みや復興の様子から、自然の恵みや海産物をつくり育てる喜び・苦勞を学ぶことができます。また、魚介類が市場を通じて都市部へ運ばれていく様子から「流通」について学習します。
- Point! 2** 津波によって生じた環境への影響について、専門スタッフを通して学びます。
- Point! 3** 山里の体験を通し、昔ながらの暮らしが、いかに「今ここにあるものを活用」してきたかなど、現代に通ずる暮らしの知恵を学ぶことができます。
- Point! 4** 震災現場の現状から、普段は気づかない当たり前にある暮らしの大切さを認識できます。
- Point! 5** 地域を訪れ、自分の目で見て回ること、地域の活気やコミュニティ、復興の歩みを感じることができます。



お問い合わせ 一般社団法人 南三陸町観光協会

TEL.0226-47-2550

住 所 〒986-0752 南三陸町志津川五日町200番地1
アクセス 仙台駅から車で90分(三陸自動車志津川ICより車で4分)
平泉から車で90分(国道398号線、一関経由)、日本三景松島から車で60分
e-mail post@m-kankou.jp
ホームページ <http://www.m-kankou.jp/educational-travel/>
(南三陸町体験学習プログラム【教育旅行専用サイト】)

●子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域(登録名:南三陸町グリーン&ブルー・ツーリズム推進協議会)
コーディネートシステム登録地域協議会(登録名:気仙沼市アグリマス・ツーリズム連絡協議会)

宿泊・食事 農山漁村体験民泊、校舎の宿さん館、民宿、ホテル、「交流型」宿泊施設プラン等/魚介類、里のとれたて野菜等

1 交流型宿泊・民泊体験

①交流型宿泊施設プラン 【小低→高】
民宿やペンション、研修施設など町内13軒以上ある宿泊施設に分かれて宿泊する特別プランです。男女別、クラス別の宿泊、滞在や交流、料理内容もご希望に応じてアレンジ可能です。最大250名までご宿泊いただけます。各宿では孫が帰ってきたように温かく受け入れますので、快適な宿で過ごす時間をぜひご利用ください。
【料金】8,800円(1泊2日アメニティなし)
【人数】最大250名 **【期間】**通年

②民泊 【小低→高】
農林漁家の一般家庭に3〜5名程度に分かれて宿泊します。他人の家にお世話になることは、子どもたちにとって、とても勇気のいることです。また、くじけそうになった時に一緒に泊まった仲間とは、とても心強いものです。民泊は、子どもたちの自分づくり、仲間づくり、感謝の心を育むことにつながります。町内全域で受け入れを行っています。
【料金】1泊2食(15:00〜翌10:00) 8,800円
時間外2時間毎1,650円、昼食1,100円
【人数】最大30名 **【期間】**通年



2 南三陸SDGsアクティブラーニング

南三陸SDGsアクティブラーニング 【小低→高】
海と食の未来を守るには?

- ①イントロダクション〈現状認識〉/15分
【現状認識】待ち受けるたんばく質競争戦、魚がとれない未来
【マインドセット】選択が持つ力を認識する
- ②インプット
〈震災をバネに実現したカキ養殖改革を学ぶ〉/40分
【あなたはどちらのカキを選びますか?】1年物の小さなカキVS2年物の大きなカキ
【1/3改革が生んだ成果】施設を減らして収入アップ、環境保全、返済を達成
【日本初のASC認証取得 その意味と効果】
【ASCの認知度と広がり】
【見えてきた課題】
- ③グループワーク〈社会起業家になりきって事業で社会課題を解決しよう!〉/1時間30分〜2時間
【課題を明確化しよう】
【課題解決のための事業を考えよう】
【できたアイデアを発表しよう】

登米市民泊体験紹介

隣接する登米市でも農家の様々な暮らしを体験する民泊体験を提供しており、30名以上の場合は広域連携を行い、分泊をご提案していますので、お問い合わせください。



④ふりかえり(今日の学びを振り返る)/10〜15分
【今日からできること】
【キャリア選択の幅を広げる】

【料金】3,300円/1名 **【人数】**20〜80名
【期間】2時間30分〜3時間



3 海から学ぶ

海から学ぶプログラム 【小低→高】
南三陸の基幹産業である漁業について学ぶプログラムです。漁師が普段使用する漁船に乗り船し湾内を周遊します。その他、養殖業についての紙芝居や、魚捌き見学、ロープワーク等を通して、漁師の仕事や養殖漁業の仕組みについて学びます。
【料金】小中高生3,300円
【人数】8〜80名(2カ所に分かれる場合もあります)
【期間】5〜9月末 **【時間】**1時間30分

4 震災から学ぶ

①語り部による学びのプログラム 【小低→高】
3月11日の震災当日、そして、その後不自由な環境下で生活してきた人々の様子は、震災を生で経験したこの町の住民にしか語ることができません。被災者が直面している現状や、復興に向けての歩み、教訓等をお伝えします。この地に来ていただき、実際に目で、耳で感じていただくことができます。
【料金】講話+バス案内、生徒20名まで22,000円(21名様以上:1名様毎に1,100円)、講話+バス案内(講話のみ+バスのみも承ります) ※語り部のスタイルによって料金が異なります。学生は20%割引
【人数】120名(120名以上はご相談ください)
【期間】通年 **【時間】**2時間



②復興商店街の見学 【小低→高】
東日本大震災で南三陸町の中心部にあった商店街は壊滅。しかし、地域の方々が立ち上がり、震災後に新しく仮設の商店街が造られました。2017年には仮設から本設になり、様々な店舗が足並みを揃えて販売を行っている姿を間近で見ることによって、被災地の商工業の現状を知ることができます。

南三陸さんさん商店街
TEL:0226-25-8903
住所:〒986-0752 南三陸町志津川五日町201-5
営業時間:各店舗により異なる
<http://www.sansan-minamisanriku.com/>

南三陸ハマーレ歌津
TEL:0226-36-3117
住所:〒988-0453 南三陸町歌津伊里前96-1
営業時間:各店舗により異なる
<https://hamare-utatsu.com/>

5 農作業体験

農作業体験 【中→高】
地域の風土や気候によって収穫できる農作物は様々。土に触れ、農作業を体験することによって、普段自分たちが口にする「食材」、目にする「農作物」への理解を深めます。野菜の定植や草刈り、収穫作業など時期によって体験内容が異なります。
【料金】1,650円/1名 **【人数】**20〜160名
【期間】10〜6月 **【時間】**1時間〜1時間30分
持ち物:汚れても良い服装と靴、軍手

6 創作体験

貯金ダコ絵付け体験 【小低→高】
南三陸町の名産であるタコをモチーフとした「置くと(試験に)パス」する縁起もの「オクトパス君」の貯金箱です。真っ白な貯金箱に10色以上のカラフルな絵の具で好きな色を塗り、世界でひとつだけのオリジナル「オクトパス君」が作れます。
【料金】1名2,200円
【人数】〜180名※150名以上の場合はご相談ください。
【期間】通年 **【時間】**90分



宮城の米どころで農家の暮らしや食を体験しよう



登米市グリーン・ツーリズム推進協議会

とめし登米市



宮城県の北部に位置する登米市は、肥沃な大地と北上川の豊富な水に恵まれ、古くから美味しいお米の名産地として知られています。少年少女に夢を与え続けた萬画家「石ノ森章太郎」は、高校卒業まで自然豊かなこの土地で暮らし、仮面ライダーはこの自然の中からイメージネーションを受けて誕生しました。田舎のゆったりとした時間の中で、農家のありのままの暮らしを体験しながら、心と体を元気にする自然のパワーを感じ取ってください。きっと新しい自分に「変身」できると思います。

登米市グリーン・ツーリズム推進協議会からのメッセージ

会長 岩淵 芳子さん

登米市には田園風景があり、清らかな水が流れ、豊かな土壌で作物が栽培されています。知らない人の家に泊まる「民泊」は、子ども達にとってとても勇気があることですが、一緒に泊まった仲間と協力しあい、人とのつながりや温かさ、自分の家族のありがたさを感じることができます。農業体験を通じて、実際に土に触れ、野菜を収穫し、家畜の世話をし、商品になるまでの食について学ぶことができます。自然豊かな登米市で、昔ながらの素朴で温かい田舎暮らしを楽しんでください。

学習のねらい・学習効果

- Point! 1** 登米市では、農業や化学肥料を抑えた環境保全米の栽培に取り組んでおり、環境に配慮した農業を学ぶことができます。
- Point! 2** 農家に民泊し、家族の一員として、ふだん接することが難しい幼児からお年寄りとお過ごししながら、農家の暮らしを学ぶことができます。
- Point! 3** 明治の洋風建築が残っており、文明開化の息吹を学ぶことができます。
- Point! 4** 萬画家石ノ森章太郎の生涯を通じて、夢を持つことの大切さを学びます。

Point!

お問い合わせ 登米市グリーン・ツーリズム推進協議会

TEL.0220-23-7331 FAX.0220-22-9164

住所 〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6-1 登米市迫庁舎

アクセス 仙台駅から車で90分(三陸自動車道登米ICより車で15分)
平泉から車で60分、日本三景松島から車で60分

e-mail kanko-pro@city.tome.miyagi.jp

ホームページ http://www.city.tome.miyagi.jp

●まちわ交流きこうコーディネーションシステム登録地域協議会(登録名:登米市グリーン・ツーリズム推進協議会)

受入人数目安 100名以内

受入実績 中学校・高校の民泊・農業体験の受入実績あり

安全・安心対策

- ・体験先農家への巡回訪問には、事務局が同行
- ・緊急時における連絡体制の整備
- ・安全講習、衛生講習の開催
- ・受入農家の保険加入(民泊)
- ・プログラムの内容に精通した地元の名人・達人が指導

宿泊/食事 農山村体験民泊(登録農家35戸:3~5名程度の分宿)/登米市の郷土料理「はっと」、油麴、ササニシキ、ひとめぼれ等

1 民泊・農業体験

農家民泊・農作業体験 中・高

一軒の農家に3~5名程度に分かれ宿泊して、農家のさまざまな暮らしを体験します。体験内容は受け入れる農家の生業に応じて、農業・林業・畜産・果樹など様々な体験ができます。郷土料理の「はっと」や「油麴」、各家庭に伝わる料理と一緒に作り、地域の食や農業に親しみをもち、自分たちが農業を営む人の立場になって、食べ物を作る苦労や食べ物を粗末にしないための工夫、旬の食材などを学びます。

【料金】7,000円 【人数】最大70名

【期間】5~10月 【時間】1泊2日~



教育施行(農泊)

登米市へようこそ!

ここには、田畑があり、山があり、水があり、人があり、温もりがあります。農家の暮らしをまるごと体験できるファームステイを体験してみませんか?

農家のひとたちと一緒に過ごす

3~5人で農家に泊まる

農家の生活を24時間体験できます。受入をする農家では、皆さんをお客様扱いせず、家族の一員のつもりで接します。

ホストファミリー紹介



岩淵 勇一・文子
(いわぶち ゆういち・ふみこ) 夫妻



三塚(みつづか) 家族



熊谷 卓郎・喜久子
(くまがいたくろう・きくこ) 夫妻

2 自然を学ぶ

①森林セラピー体験 低・高

宮城県初の森林セラピー基地に認定されている「登米ふれあいの森」。森林の中をウォーキングしながら木々や草花に触れ、森林の持つ癒しのパワーを感じます。森林について興味や親しみをもち、環境の大切さを学習します。

【料金】200円※別途ガイド料

【人数】1名以上

【期間】5~10月

【時間】1~3時間※コースによる



②伊豆沼・内沼の環境学習 低・高

ラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」はハクチョウ、ガン、の全国的飛来地です。本プログラムでは、伊豆沼・内沼の周辺を散策しながら、自然環境と農業との関連性について学びます。目標・ご希望に応じて農業の6次産業化の講話や郷土料理などの食農体験を組み込むことも可能です。※登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター見学もできます。

【料金】要相談 【人数】5名以上

【期間】通年 【時間】1時間~※内容による



3 歴史を学ぶ

みやぎの明治村(登米の城下町) 低・高

北上川西側の城下町、登米(とよま)町には、明治時代に建造されたハイカラな洋風建築物が多く残り、当時の面影を今に伝えています。なかでも「教育資料館(旧登米高等尋常小学校)」には、各時代の教科書や、昔のままの机・腰掛オルガンなどを展示しており、当時の様子を学ぶことができます。

【料金】1,000円(6施設共通観覧料)

【人数】1名以上 【期間】通年 【時間】2時間



南三陸町民泊・交流型宿泊体験紹介

隣接する南三陸町でも農家の様々な暮らしを体験する民泊体験や民宿、ペンション、研修施設など町内13軒以上ある宿泊施設に分かれて宿泊する交流型宿泊体験を提供しており広域連携を行っております。分泊等をご提案しておりますので、お問い合わせください。



石巻圏で「生きる力を育む」学びの旅!



一般社団法人
石巻圏観光推進機構



石巻圏は、水産業や農業などの一次産業を学ぶ場、歴史・文化を学ぶ場、震災当時の状況や復興状況を学ぶ場などが多数あります。過去の災害からの文化・歴史、復興への歩みを、土地、土地の方々にふれあいながら未来に備える学びの場としてお越しください。

一般社団法人 石巻圏観光推進機構からのメッセージ

業務執行理事 斉藤 雄一郎さん

石巻圏(石巻市、東松島市、女川町)は、東日本大震災の最大被災地で、多くのものを失いました。しかし、全国、全世界の皆様からの温かい支援、応援を頂きながら、困難を乗り越え、強く、たくましく生きる力をもらいました。次世代を担う皆様に、地域が一丸となり、復旧・再生・発展へと未来に向かって歩み続ける石巻圏で見聞を広め、様々な交流・体験をしていただくことを願っております。石巻圏観光推進機構では、震災を経験した様々な地域の人たち(行政、観光、企業、医療、教育、メディア、飲食店、NPO他)と少人数でのワークショップや語り部、体験プログラムなどをコーディネートさせていただいております。

学習のねらい・学習効果

- Point 1** 被災地の復興を実際に見て感じ、防災について学び、考え、未来に活かす力を学びます。
- Point 2** 震災を体験した地域の人たちとの交流を通じて、防災について語り合い、自らが考える力をつけます。
- Point 3** 日常と異なる環境に身を置き、人、食、自然、文化から成る豊かな暮らしを体験、親しむことにより、環境や自然資源をまもり、未来の暮らしを守る大切さを学びます。

お問い合わせ 一般社団法人 石巻圏観光推進機構

TEL.0225-98-8285 FAX.0225-98-8019

住所 〒986-0822 石巻市中央二丁目11-21 石巻市かわまち交流センター内

アクセス 仙台駅から車で60分(三陸自動車道経由)、

松島から車で40分(三陸自動車道経由)

e-mail info@umimachi-sanpo.com

ホームページ 「海街さんぽ」http://www.umimachi-sanpo.com

受入人数目安 体験によって異なりますが、可能な限り調整をいたします。

受入実績 修学旅行、大学サークル、ゼミ、企業研修等

安全・安心対策

- ・緊急時における避難体制の整備
- ・緊急時の連絡体制の整備
- ・食物アレルギーへの対応
- ・各種保険に加入

宿泊/食事 宿泊:ホテル、旅館、民宿、キャンプ場など/食事:松島湾、金華山沖が育んだ新鮮な魚介類や、豊かな自然とともに創った地元農産物

1 震災学習

①震災・防災ワークショップ 四高→高

東日本大震災を経験し、地域の復興に尽力している人々(行政、観光、企業、医療、教育、メディア、飲食店、NPO他)と少人数でのワークショップをコーディネートさせていただいております。旅行前の「課題決定」、現地での「情報収集」、旅行後の「整理・分析、まとめ・表現」を有機的に結びつける。そんな、「教育旅行=学習手段」の時代にふさわしい学びをサポートいたします。

【料金】1,500円(1名)~

【人数】5~80名程度

【期間】通年

【時間】60~90分

※内容、料金等詳細につきましては、打合せ後決定させていただきます



②防災学習 四高→高

東日本大震災の被災地で、震災、復興の様子を実際に見て肌で感じ、防災について学び、自ら考え行動する力をつける場を提供いたします。

石巻南浜津波復興祈念公園、震災遺構(旧大川小学校、旧門脇小学校、旧女川交番など)、伝承施設や、いのちの石碑などの見学や地域の語り部、街歩き団体へのコーディネートいたします。

【料金】施設、プログラム等により異なります

【人数】施設、プログラム等により異なります

【期間】通年

【時間】30~120分



その他の周辺施設

株式会社 東松島観光物産公社

https://higashimatsushima-kanko.com/

TEL.0225-86-1511

FAX.0225-86-1545

住所 〒981-0303 東松島市小野新宮前5
(東松島市役所・鳴瀬庁舎3F)

休業日 土日祝日、年末年始 営業時間 8:30~17:15

e-mail info@okumatsusima.jp

2 自然体験

①奥松島体験ネットワーク 四低→中

奥松島に息づく豊かな自然環境を活かした体験メニューが盛りだくさん。インストラクターは全員育成講座を受講済なので、知識豊富で安全な体験学習に参加できます。奥松島の大自然を存分に楽しめる海洋体験や現役漁師から教わる漁業体験などがあるので、心地よい潮風を感じながらチャレンジしてみませんか。

【料金】体験メニューによって異なります

【人数】要相談

【期間】通年

【時間】60分~120分



②奥松島クラブハウス 四高→高

日本の伝統芸術である盆栽をテーマに、音と光と水の美しい庭園を備えた文化体験施設。

施設内では、様々なアクティビティやイベントを楽しめる他、採れたて新鮮な海鮮炭火焼きや美味しい蕎麦なども味わえます。

【料金】体験メニューによって異なります

【人数】要相談

【期間】通年

【時間】季節により変動



③災害を乗り越えてきた地域力から学ぶ 牡鹿半島の浜へ行こう! 四低→高

牡鹿半島で盛んな牡蠣、ホヤ、ホタテなどの養殖場を漁師さん直々のガイドで見学し、食卓に並ぶ食材がどのような工程や、こだわりのもてで作られているかを学びます。また様々な漁法を漁師さんの巧みさ、力強さを目の当たりにしながら体験できます。(季節・漁期・浜・天候により若干の変更あり)

東日本大震災の震源地に最も近い牡鹿半島で、震災について学び、防災について考え、自らが行動する力を身につけ、そしてそこに暮らす方々と交流しながら生業や暮らしを体験し沢山の事を「見て聞いて感じ食べ考え伝え学ぶ」人と繋がる事のあたたかさ当たり前の事に気付く事の大切さと感謝の心を育み「自分に何ができるか」これからの心を動かすきっかけを共に作りましょう!!

【料金】1,000円~5,000円

【人数】5~100名(相談あり)

【期間】通年

【時間】1~3時間



自然災害はなぜ起こる？ わかりやすく防災・減災を学ぼう



(一社)栗原市観光物産協会

くりはらし
栗原市

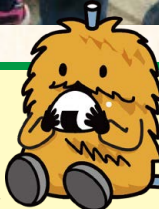


栗駒山麓ジオパーク(栗原市)は宮城県北部に位置し、市内北部に標高1626メートルの栗駒山、東部にはラムサール条約に登録されている伊豆沼・内沼が広がる自然豊かな地域です。細倉鉱山などの近代化産業遺産群、長屋門がおりなす素朴な農村風景、風土が育んだ伝統文化などが今も伝えられ、地域の大切な資源として後世に受け継ぐ取り組みが行われています。

栗原市観光物産協会 からのメッセージ

栗原市PR担当主事 ねじり ほんによ

栗原市では、「平成20年岩手・宮城内陸地震」で被災した栗駒山麓崩落地の地形・景観と四季折々の美しい自然、食や文化などの観光資源を結びつけて、ジオパークによる地域づくりに向けた様々な活動を展開しています。栗駒山や伊豆沼・内沼などに代表される自然景観、栗駒山を源流とする迫川水系、さらには迫川の氾濫によって形成されてきた田園地帯。そして火山の麓ならではの鉱山、温泉といった大地の恵み。すべてがジオ(地球)とのつながりの中に存在し、栗原にあるべき風土として定着しています。私達は、これらの資源を活用した教育旅行の取り組みをご提案し、子ども達の探究心と、楽しい思い出作りをサポートします。



学習のねらい・学習効果

Point 1 (ふるさと学習の面)

恵まれた環境条件の中で発展し続けた栗原の地域文化の見学・体験を通じ、自分たちの暮らしが、自然環境と深く結び付いているという気付きを与えます。

Point 2 (防災・減災学習の面)

栗駒山麓では、過去の地震により大規模な山地災害が起こり、また平野部ではこれまで何度も洪水災害が発生してきました。栗駒山麓ジオパークでは、ジオガイドとともに歩いたり、マシンを使って山地災害のシミュレーションを行ったりすることで、分かりやすく防災・減災学習を行うことができます。

Point!



お問い合わせ 一般社団法人 栗原市観光物産協会

【宮城県知事登録旅行業第3-348号 総合旅行業務取扱管理者 高橋義明】
TEL.0228-25-4166 FAX.0228-25-4182

住所 〒989-5612 栗原市志波姫新熊谷284-3 (JRくりこま高原駅内)
アクセス 仙台駅からくりこま高原駅まで新幹線で25分
仙台駅から車で60分(東北自動車道築館ICから車で10分)
平泉から車で40分(東北自動車道若柳金成ICから車で10分)
日本三景松島から車で65分

e-mail kurihara-kb@grace.ocn.ne.jp
ホームページ https://kurihara-kb.net/

宿泊/食事 栗駒山麓エリア、花山エリア、伊豆沼エリアに宿泊研修施設あり/四季折々の地元産食材を使ったこだわり料理等

1 自然学習

①栗駒山登山、トレッキング体験 小低→高

四季ごとに移り変わる栗駒山の自然を楽しみながら、山歩きを行います。友達同士で声を掛け合いながら登る栗駒山登山や、見慣れない高山植物の宝庫世界谷地でのトレッキングを行うことができます。山岳ガイドによる丁寧な解説、安全管理も行います。

- 栗駒山中央コース(往復)約6km/約4時間
- 東栗駒コース(往復)約8km/約5時間
- 世界谷地トレッキング 約2km/約1時間
- リポートレッキング(要相談)



②ラムサール条約湿地伊豆沼・内沼環境保全・保護について考える 小低→高

伊豆沼・内沼は、常に周辺の自然環境や人々の生活による影響を受けています。その理由について、沼の水生植物、生き物との触れ合いを通じて考えていきます。沼に生息する昆虫や動物に触れながら、環境の保全や保護について考えを深めることができるプログラムです。

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
【入館料】無料 【開館時間】9:00~16:30
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~31日



栗駒山麓ジオパークに関するお問い合わせ先

栗駒山麓ジオパーク推進協議会(栗原市ジオパーク推進室) 【TEL】0228-24-8836 【URL】http://www.kuriharacity.jp/

その他の周辺施設

一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク http://ktnpr.com/

TEL.0228-24-8588 FAX.0228-24-8588

住所 〒989-5504 栗原市若柳上畑町敷味45
休業日 土日祝日 営業時間 9:00~18:00
e-mail kurihara.tn@gmail.com

2 防災・減災学習

①栗駒山麓ジオパーク 震災の爪あとから学ぶ 小低→高

日本最大級の規模となった荒砥沢地すべりや道路の崩壊現場などを、ジオガイドとともにめぐります。なぜ地震が起こるのか?なぜ山は崩れるのか?といった疑問を、フィールド学習や体験プログラムを通じて紐解いていきます。普段は写真でしか見られない自然現象を、じかに目にすることができる貴重な体験です。

【料金】1時間あたり2,000円(応相談)
【時間】1~2時間

②過去の大地震を体感してみよう 小低→高

栗駒山麓ジオパークとも連携を図る「栗原市防災学習センター」では、様々な体験が可能です。過去の大地震の揺れを体感する装置や、火災の疑似体験装置などを活用するので、実際の災害発生時のイメージが掴みやすいのが魅力。また、災害への備えに関する学びも行います。

栗原市防災学習センター
【料金】無料 【人数】40名 【利用時間】9:30~16:00
【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日から1月4日)
【予約】事前に電話等で確認が必要です。
3ヶ月前から予約できます。
40名以上の場合はお問い合わせ下さい。

3 産業に関する学習

細倉鉱山の歴史をたどる 小低→高

くりはら田園鉄道や細倉マインパークなどの「細倉鉱山関連遺産」は、近代化産業遺産群として経済産業省より認定されています。鉱山によって栄えた細倉の歴史、現在は馴染みのほとんどない鉱山における仕事について学ぶことができます。

細倉マインパーク
【入館料】大人460円、中高生360円、小学生300円
【休館日】火曜日(祝休日は翌日)及び年末年始
※詳細についてはお問い合わせ下さい。



4 生活にまつわる学習

①栗原市の農業体験 小低→高

栗原市は肥沃な土壌と豊富な水を活用し、県内有数の米どころとして栄えてきました。以下のような農村ならではの体験を通じ、日本の農業への理解を深めていきます。

- 田植え・稲刈り・ほんによづくり体験
- もちつき体験



②戦後開拓地の生活を学ぶ 小低→高

標高500m程の高地にある栗駒耕英地区では、栗駒山が育む清らかな水を活用して岩魚の養殖を行っています。岩魚の養殖池やさばく様子の見学。耕英地区の方から地域の歴史についてお話を聞く中で、地域の特性を活かして生きる人々の生活について学びます。



「ジオパーク」とは

ジオ(地球)に親しみ、山や川をよく見て、その成り立ちとしくみに気付き、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。足元の地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山と川と海と大気とそこに住む生物について考える、つまり地球を丸ごと考える場所、それがジオパークです。

「世界農業遺産」の地で農業・歴史・文化について触れてみよう

(一社)みやぎ大崎観光公社



おおさき大崎市



宮城県北西部に位置する大崎市は、世界農業遺産*にも認定されている伝統文化が色濃く残る田園都市です。SDGs未来都市にも選定されました。冷害や洪水、渇水の高リスクが、厳しい自然環境下にある地域ですが、先人たちの知恵と工夫により発展してきました。大崎市で世界に誇る農業・歴史・文化に触れてみませんか？

※世界農業遺産

世界的に重要な伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、国連食糧農業機関（FAO）が認定する制度。大崎市を含めた1市4町の大崎地域が、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」として、平成29年に世界農業遺産に認定された。

みやぎ大崎観光公社からのメッセージ

事務局長 星義一さん

世界農業遺産「大崎耕土」は、先人の知恵と工夫で厳しい自然環境と共存してきた巧みな水管理を『観』て、土のおいしさを『嗅』いで、共生してきた多種多様な生き物に『触れ』て、地元の人々のお話を『聴』いて、豊かな農作物を『食べ』て、この地に根付く伝統を心で『感じ』ることができ、五感全てを使って学べる人と自然の博物館です。また、本州随一の泉質を誇る「鳴子温泉郷」や、伝統的工芸品「鳴子こけし」絵付け体験、地元の人との交流を楽しめる「農業体験」等、様々な体験プログラムをご用意しております。皆様が広大な自然で楽しく学べるお手伝いを致します。皆様が大崎市へお越しいただくことを心よりお待ちしております。

学習のねらい・学習効果

Point! 1 “世界農業遺産”に触れ、昔から大崎市で大切に受け継がれてきた“知恵”を学ぶことができます。

Point! 2 農作業体験を通じて食物をいただくありがたさや自然環境の大切さを学ぶことができます。

Point! 3 大崎市の工人や職人たちと交流しながら、伝統文化・食文化を学びます。

Point!

お問い合わせ

一般社団法人 **みやぎ大崎観光公社**

宮城県知事登録 旅行業 第2-346号

TEL.0229-25-9620 FAX.0229-25-8635

住所 〒989-6153 大崎市古川七丁目3-10 釀室内蔵10

アクセス 仙台駅から車で50分（東北自動車道 古川ICから車で10分）
平泉から車で1時間、松島から車で50分

e-mail travel@mo-kankoukousya.or.jp

ホームページ https://www.mo-kankoukousya.or.jp

受入人数目安 10～100名（体験メニューによる）

受入実績 中学校・高校の受入実績あり

安全・安心対策

- ・緊急時における連絡体制の整備
- ・安全講習、衛生講習の開催
- ・ファームステイ保険加入（民泊）

1 農業体験

①農作業(収穫)体験 小高・高

田畑に水を行きわたらせる巧みな水管理システムにより、大崎耕土では豊かな農作物が育ちます。体験内容はお問合せを受け、調整したのちご案内いたします。収穫が含まれる場合、一部収穫物はお土産としてお持ち帰りいただくことも可能です。

〈体験一例〉

収穫体験：ミニトマト、大根、かぶ、たけのこ
農作業：ブルーベリー畑の整備

【料金】1,100円 【人数】5名～

【期間】通年 【時間】30分～1時間



②田植え体験 小高・高

お米の品種である「ササニシキ」と「ひとめぼれ」は大崎市で誕生しました。米どころ「大崎市」で、地元農家を先生に迎え、昔ながらの手植えを体験しましょう。田植え後から稲刈りまでの生育状況を撮影しメールでお知らせしますので【お米のできるまで】を学ぶことができます。

【料金】1,700円（精米後のお米発送料別途）

【人数】最大120名程度

【期間】5月 【時間】1時間30分～2時間



2 食文化を学ぶ

①ずんだもち手作り体験 小高・高

大崎市の伝統食「ずんだ」を、サヤから豆を一つ一つ取り出し漬すところから体験。世界農業遺産にも認定された昔から受け継がれている伝統文化を体験します。実際に作った「ずんだもち」は、その場で召し上がりいただけます。

【料金】2,000円（会場代、会場設営費別途）

【人数】5～40名

【期間】通年 ※農繁期は応相談

【時間】1時間30分程度



②すっぽこ汁づくり体験 小高・高

大崎市近辺で昔から食べられてきた家庭料理「すっぽこ汁」。野菜のしっぽ（切れ端）で作った汁物を振舞ったことが由来となっています。実際に作った「すっぽこ汁」は、その場で召し上がりいただけます。

【料金】2,000円（会場代、会場設営費別途）

【人数】5～20名

【期間】通年

※農繁期は応相談

【時間】1時間程度



3 創作体験

①鳴子こけしの絵付け体験 小高・高

首を回すとキイキイ音がする鳴子こけし。工人さんに教えていただきながら世界に一つだけのオリジナルこけしを作成。作品は「思い出」としてその場で持ち帰ることができます。

【料金】1,430円（会場代、会場設営費別途）

【人数】5名～100名

【期間】通年

【時間】1時間30分



②天然藍染め体験・たて藍の葉っぱたたき染め体験 小高・高

種をまき、無農薬、有機栽培で育てた大崎市産の天然の藍で世界にたった一つの「思い出」を作ります。

【料金】要相談

【人数】1～30名程度

【期間】藍染め：通年・たたき染め：7月～10月初旬

【時間】2時間



エリアパートナー

田尻グリーン・ツーリズム委員会

（公園の中の宿 ロマン館内）

大人から子供まで楽しめる、さまざまな体験を準備しております。日常生活では出来ないようなことが体験出来ますので、この機会にぜひお試しください。

TEL 0229-39-2424

FAX 0229-39-0884

住所 大崎市田尻小塩字ハツ沢1（公園の中の宿 ロマン館内）

アクセス 仙台駅から車で70分（東北自動車道長者原より車で20分）

ホームページ http://www.romankan.info/

受入人数目安 10名～50名（体験メニューによる）

受入実績 小学校・中学校・高校の受入実績あり



ソーセージ作り



米粉ピザ作り

体験メニュー	料 金	人 数	所要時間(目安)
米粉ピザ作り体験	1,600円	10名～50名	2時間30分
手打ちそばづくり	1,600円	10名～30名	2時間
ソーセージづくり	2,100円	10名～30名	4時間
天然藍染めづくり	2,100円	10名～20名	2時間
陶 芸	2,100円	10名～20名	2時間
米粉グラタンづくり	1,600円	10名～30名	2時間
古代稲クラフトづくり	2,100円	10名～30名	2時間

薬菜山のふもとで 農家の方々から食文化を学ぼう



加美町グリーン・ツーリズム推進会議

かみまち
加美町



奥羽山脈からの風対策としての居久根(大崎耕土世界農業遺産)を薬菜山の山頂からは是非ご覧ください。先人の知恵が現代まで引き継がれて土地を守る大きな役割を感じ取れます。大きな自然に囲まれたた加美町に来て風、音、匂いを心で感じて、自分だけのふるさとを楽しんでください。皆様を待ってます。

加美町グリーン・ツーリズム 推進会議からのメッセージ

会長 佐藤 英夫さん

加美町は、加美富士とも呼ばれる薬菜山、穏やかな流れの鳴瀬川がある緑豊かな町です。東日本大震災時でも宮城県内で早くライフラインが復旧しており、被害が最少で済みました。豊かな農地で育った新鮮で安心・安全な農作物を、民泊先のお母さんと一緒に調理して大勢で食べることで、好き嫌いの克服ができることがあります。学校では味わえない体験が皆さんを変え、加美町が第二のふるさとになります。是非、加美町で自然を感じながら宿泊体験していただき、今だから感じられる人とのふれあいを楽しんでください。家族の一員として皆さんをお迎えいたします。

学習のねらい・学習効果

- Point! 1** ふだん体験できない田植えや野菜の苗の植え付けなどを通じて、土や水、植物や生物に触れ、自然を感じながら、作物の生長や収穫の喜びを味わえます。
- Point! 2** 地域の特性を活かし生活をしている加美町の知恵を学べます。
- Point! 3** 農家に泊まって共に暮らし、農家の文化を知ることができます。それは、皆さんにとって非日常的な体験で、新鮮な驚きが多く見つけられるはずです。
- Point! 4** 平成29年12月には、大崎地域が世界農業遺産に認定され、先人たちが築いた水管理システムにおいての農業との係わりを知ることができます。

お問い合わせ 加美町グリーン・ツーリズム推進会議

TEL.0229-67-5123 FAX.0229-67-5123

住所 〒981-4392 加美町字長檀75-2 加美町小野田支所内

アクセス 仙台駅から車で70分(東北自動車道古川ICより車で30分)
平泉から車で75分、日本三景松島から車で50分

e-mail kami-gt@space.ocn.ne.jp

ホームページ http://kamigt.chagasi.com/

●子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域(登録名:加美町グリーン・ツーリズム推進会議)

受入人数目安 150名以内

受入実績 小中学校の農山村体験・民泊の受入多数

安全・安心対策

- ・体験先農家への見廻りを、事務局独自に実施
- ・緊急時における連絡体制の整備
- ・安全講習、衛生講習の開催
- ・ファームステイ保険加入(民泊)
- ・各種インストラクター講習を受講した指導者多数

宿泊/食事 農山村体験民泊(登録農家60戸・4名程度の分宿)/各家庭に伝わるこだわりの料理等

1 農村体験

①米の里(田植え)体験 小低→高

農家のおじいちゃんやおばあちゃんが先生です。田んぼの温かなぬかるみに入って、昔ながらの方法で、苗を手植えしてみましょう。
【人数】200名程度
【期間】5月中旬
【時間】3時間



②米の里(稲刈り)体験 小低→高

農家の方々が優しく指導します。秋の実りを感じられる、うれしい季節です。
【人数】200名程度
【期間】9月下旬～10月中旬
【時間】3時間

2 民泊体験

①農家民泊体験 小低→高

農家に到着した時から、子どもたちは家族の一員です。大家族での生活や近所付き合いなどを通じて、農村の温もりを感じてください。各農家の生業をお手伝いしてもらいます。

食育体験

農家のおばあちゃんやおじいちゃんに習いながら、各家庭に伝わる自慢の料理を手作ります。又、自分たちで収穫した野菜をおいしく食べる知恵を学びます。

農作業体験

各農家のお手伝いで、新鮮な野菜の収穫などが体験できます。野菜の種を蒔くことで、野菜に愛情がもてます。

【人数】150名程度

【期間】通年 【時間】1日



※各種体験料金は、お問い合わせください。

その他の周辺施設

やくらい土産センター <http://www.yakurai-dosan.jp>

TEL.0229-67-3011 FAX.0229-67-3313

住所 〒981-4375 加美町字味ヶ袋薬菜原1-67

休館日 12月第1月火水曜日

営業時間 9:00～18:00(4月～10月)、9:00～17:00(11月～3月)

②りんご狩り体験 小低→高

りんごの収穫を体験し、その場で食べることができます。もぎたてのりんごの味は新鮮そのものです。
【人数】200名程度
【期間】9月下旬～11月中旬
【時間】3時間



③野外飯ごう炊飯 小高→高

加美町の田んぼで丹精込めて育てられたお米を、自分で火をおこし、飯ごうで炊きます。透き通ったお米のおいしさとほんのりとした甘さ、そして、香ばしいお焦げはここでしか味わうことができません。
【人数】80名程度
【期間】通年
【時間】3時間

3 創作体験

①木工体験 小低→高

森の中にある自然の木の实や枝などで、写真立てやペン立てなどを製作します。子どもたちの創造性に驚かされる作品ばかりです。
【人数】25名程度
【期間】通年
【時間】2～3時間



②草木染め体験 小低→高

世界に1枚しかないオリジナルの作品を作ることができます。
【人数】200名程度
【期間】通年
【時間】3時間



③陶芸体験 小低→高

味のある茶碗、マグカップ、湯飲み、皿などの器を作ります。
【人数】80名程度
【期間】通年
【時間】3時間



4 自然体験

①薬菜登山 小低→高

加美町の秀峰で、別名「加美富士」と称される553mのなだらかな薬菜山に登ります。「いぐね」に囲まれた大崎耕土の美しい風景を見おろし感じていただけます。
【人数】多人数で可
【期間】通年
【時間】3時間



加美町の宿泊施設

やくらい薬師の湯	定員85名	陶芸の里ゆーらんど	定員40名
やくらい林泉館	定員73名	陶芸の里コテージ	定員35名
やくらいコテージ	定員68名	中新田交流センター	定員58名
滝庭の関 駒庄	定員20名		

お申込み・お問い合わせ (株)加美町振興公社 TEL.0229-67-3388 FAX.0229-67-3890

雄大な蔵王連峰の自然の中で 里山の暮らしに触れてみよう



蔵王町体験交流活動
推進協議会

ざおうまち
蔵王町



蔵王町は、東北の霊峰・蔵王連峰の東麓、宮城県の南西部に位置し、町域の6割が山林や原野で占められている町です。蔵王連峰に連なる高原地帯には貴重な野鳥などが生息し、豊かな自然があります。また、良好な水田地帯と丘陵地を利用した果樹栽培も県下一の生産量を誇り、酪農も盛んな地域です。蔵王連峰の雄大な自然の中で、五感を充分に使った里山暮らしと一緒に体験しませんか。

蔵王町観光PRキャラクター ざおうまさまからのメッセージ

蔵王町観光PRキャラクター ざおうまさま

豊かな自然を活かし、様々な体験活動ができる蔵王町は、いたる所が体験の場なのじゃ。「人と自然の関わりを感じられる体験」を追求しておるぞい。雄大な大地や自然を活かした先人の知恵や力強さを感じていただきたいのじゃ。様々な体験を通して将来に活かせる何かを見つけて欲しい、そんな願いを込めてみなさまをお待ちしておるぞい!

学習のねらい・学習効果

Point!

- Point! 1** 蔵王町は標高差1,805mの地形を有し、気候の違いに応じた産業が盛んです。水稲・野菜・果樹栽培、酪農などを体験することにより、自然の恵みへの感謝と命の大切さを学び、農業に対する理解を深めることができます。
- Point! 2** 農業従事者、こけし工人、観光に関わる人などを通し、仕事観、自分たちの生き方を考えるきっかけを提供します。
- Point! 3** 自然体験活動を通じて自然と人との関わりを学び、自然環境保全の意識向上を狙います。また、自然界の仕組みや森の役割を学ぶことで、人と自然との共存を考えるきっかけをつくります。

お問い合わせ ざおうまちたいけんこうりゅうかつどうすいしんきょうぎかい
蔵王町体験交流活動推進協議会

TEL.0224-33-2215 FAX.0224-33-2257

住所 〒989-0892 蔵王町大字門田字西浦北10番地
(蔵王町農林観光課)

アクセス 仙台・山形・福島から車で60分(東北道村田IC・白石ICより20分)
世界遺産「平泉中尊寺」より120分、日本三景松島より70分

e-mail kanko@town.zao.miyagi.jp

ホームページ <https://www.town.zao.miyagi.jp>

受入人数目安 250名まで(1日)

受入実績 小・中・高校の伝統工芸・農業・酪農・トレッキング・
宿泊体験を中心に受入多数

安全・安心対策

- ・緊急時における連絡体制の整備
- ・安全管理、研修会等の開催
- ・プログラムの内容に精通した経験豊富なスタッフが指導

宿泊/食事 旅館・ホテル・ペンション・合宿所等/蔵王で採れた新鮮な野菜・果物・乳製品等

1 農業・酪農体験

①果物狩り体験 小低→高

宮城県内一の収穫量を誇る蔵王町の梨をはじめ、りんごや桃、ブルーベリーといった果物狩りを体験することができます。新鮮で瑞々しい果実が収穫できます。

【料金】要相談 【人数】要相談
【期間】7～10月 【時間】2時間

②蔵王の野菜栽培・収穫体験 小低→高

大根などをはじめとした野菜の種まき、草取り、間引き、収穫などを行います。蔵王の大地を利用したおいしい野菜を作るための工夫・苦労を知るとともに、普段何気なく食している食材の作り方や流通に関しても改めて疑問・関心を持つことができるでしょう。

【料金】要相談 【人数】要相談
【期間】5～11月 【時間】2時間

③田植え・稲刈り体験 小低→高

青空と残雪・新緑・紅葉が映える蔵王の山々は絶景です。土の感触を味わいながら、田植え・稲刈りを楽しんでください。

【料金】要相談 【人数】要相談
【期間】田植え 5月 稲刈り 9～10月
【時間】2時間

④蔵王山麓の畜産加工体験 小低→高

蔵王町産の新鮮な牛乳を使ったチーズやバター、アイスクリームづくりや、ソーセージづくりの体験ができます。体験の間にはヤギやヒツジと触れ合うことができます。

【料金】600円～1,600円(体験により異なる)
【人数】50～100名 【期間】通年
【時間】30分～2時間

⑤バーベキュー、芋煮体験 小低→高

蔵王町の美味しい食材を加工・調理して、みんなで作るバーベキューや芋煮の味は格別です。

【料金】2,000円～2,500円 【人数】100名
【期間】バーベキュー 5～10月 芋煮 9～10月
【時間】2時間



2 自然活動体験

①蔵王の自然観察体験 小低→高

蔵王山麓の雄大な自然をフィールドにして、四季折々の植物や動物の生態を観察します。また、森と水の関係も学べます。

【料金】350円 【人数】150名
【期間】通年 【時間】2時間

②みやぎ蔵王の星空鑑賞 小低→高

蔵王町は空気が澄んでいるので、星がとても綺麗に見えます。スキー場の Gondola から星空を眺める「空中さんぽ」は、夜の体験メニューにオススメです。

【料金】2,400円 【人数】要相談
【期間】7～10月 【時間】2時間

③登山・トレッキング 小低→高

蔵王山頂を目指す本格的な登山から、滝や高山植物を観察するトレッキングなど、いろいろなコースがあります。

【料金】要相談 【人数】要相談
【期間】要相談 【時間】要相談

④みやぎ蔵王の樹氷めぐり 小低→高

冬の蔵王の象徴的存在、樹氷。日本で唯一、雪上車に乗って樹氷を間近で見ることができるツアーです。

【料金】要相談 【人数】90名
【期間】12月中旬～3月中旬 【時間】2時間

⑤スキー・スノーボード 小低→高

蔵王はスキーの聖地。雄大な景色を満喫しながらのスキー・スノーボード教室です。初心者の方でも安全に滑ることができます(用具レンタルあり)。

【料金】要相談 【人数】10～300名
【期間】12～3月 【時間】2時間



3 工芸体験

①こけしの絵付け体験 小低→高

自分で絵付けしたこけしは、世界でただ一本のオリジナル。思い出の宝物になります。

【料金】1,050円(こけし館入館料込み)
【人数】200名
【期間】通年
【時間】2時間

②ネイチャークラフト作り体験 小低→高

自然の竹や木を使った工芸品を作ります。自然をうまく活用してきた先人たちの苦労なども実感できます。

【料金】300円～
【人数】20名
【期間】通年
【時間】1時間30分

③陶芸体験 小低→高

手回しロクロを使って、お皿や湯のみ等を作成したり、絵付けを行います。

【料金】1,500円～
【人数】200名
【期間】通年
【時間】1～2時間



その他の周辺施設

ふれあい牧場蔵王ハートランド <https://heartland.zao-cheese.or.jp/>

※詳しくは本ガイドブックP59へ

TEL.0224-34-3311 FAX.0224-34-3313

住所 〒989-0916 蔵王町遠刈田温泉字七日原251-4

営業日 4月上旬～11月下旬※11月～3月までは冬期休業

営業時間 10:00～17:00

共同浴場 神の湯 <http://toogattaspa.jp/kaminoyu.html>

TEL.0224-34-1990

住所 〒989-0912 蔵王町遠刈田温泉仲町32

営業時間 10:00～13:30(受付終了) 15:00～19:30(受付終了)

料金 料金 大人400円 小人(小学生以下)150円